

桜美林大の学生、地域活性化へ継続活動

交流の絆 末永く

都路中生が「卒業証書」贈る

桜美林大(東京都)は二〇一四(平成二
十六)年度から田村市都路町の地域活性化
に向けて継続して活動している。二〇一八
年度の四年生は地域住民の心に寄り添い、
子どもたちの心を動かした。今月には都路
中の生徒が発案した四年生の卒業を祝う会
が催された。

同大の卒業生が田村市復
興応援隊に就職し、仲介し
たのがきっかけで活動が始
まった。現在の四年生は昨
年度から二年間にわたり地
域住民と親しく交流してき
た。年間五十日以上、都内
から自費で駆け付けた。
二〇一八年度は「子ども

が都路町の魅力をさらに発
見し、定住または帰ってき
たいと思う町を自ら発見つ
くこと」をテーマに活動
した。交流の場をつくる目
的で、昨年五月から四カ月
かけてピザ釜を作り、小中
学生とともにイベントを開
催した。八月には野外シア

ターを企画し、空気の澄ん
だ夏の夜空の下で映画を観
賞した。
十、十一月には子どもた
ちの主体性を鍛えるための
ワークショップを開催し、
小中学生自らがイベントの
企画を考えた。

生から「今度は自分たちが
都路町をよくする活動をし
ていく」との意気込みが聞
かれた。
熱心に活動した桜美林大
四年の会津菜々さん(二
)「大学生と住民、子ど
ちが協力し合えば素晴
い活動になる」と都路
未来に期待した。



継続的な交流を通じて絆を強めた桜美林大の学生と都路中の生徒



ピザ釜を作る桜美林大の学生

バレンタイン限定



品「ゆい
アイン」



鬼を目掛けて豆を投げる児童

地域の伝統文化に触れる

都路小